いながわ 議会だより

第149号
平成25年（2013年）11月1日
発行:兵庫県猪名川町議会

議会の新体制を決定！ 2
つつじが丘に多目的広場を設置 6
一般質問 9人が町の考えを聞く 8
追　跡 あの質問 その後は 13

白金小学校区まちづくり協議会が
南田原地区で稲刈り

～議会の新体制を決定！～

9月26日㈭、第367回定例会第3日選挙により、議長に西谷八郎治議員、副議長に合田共行議員を選出。
その後、常任委員会委員、議会運営委員会委員、特別委員会委員などを選任し議会の新体制が決定しました。

議　長に西谷　八郎治
副議長に合田　共行　を選出

住民の声を十分に取り入れ、諸課題解決に取り組みます。

就任のごあいさつ

住民の皆様には、日頃より町議会に対し深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、第367回猪名川町定例会におきまして、議長・副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄に存じますと共に、その職責の重さを痛感しております。

地方自治体を取り巻く環境は大きく変化しており、地方分権が進展する中で、議会に与えられた使命、役割は、たいへん責任の重いものであると、ひしひしと感じるところでございます。

町議会として、今後も住民の皆様が安心して住み、暮らせるよう、住民福祉の向上のため、誠心誠意尽力をしてまいりたいと決意をあらたにしております。

このため、議会としましては、皆様の声を施策に十分に反映するなど、諸課題の解決に向け全力で取り組んでまいりたいと存じます。

今後も、住民の皆様の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。

副議長
合田 共行（2期目）
総務建設常任委員会委員長、監査委員などを歴任

議　長
西谷 八郎治（3期目）
総務建設常任委員会委員長、監査委員、副議長などを歴任

会派の構成

（届出順・平成25年10月1日現在）

《日本共産党議員団》
代表　下坊辰雄
池上哲男

《絆ネット》
代表　久保宗一
丸山　純
加藤郁子

《共栄会》
代表　合田共行
石井洋二

《清流会》
代表　肥爪勝幸
宮東豊一

《アクティブいながわ》
代表　福井澄榮
安井和広
下神實千代
山田京子

会派に属さない議員
西谷八郎治
南　初男

各委員会の委員を紹介

◎委員長　○副委員長

常任委員会

生活建設常任委員会

◎石井洋二
○加藤郁子
池上哲男
久保宗一
下神實千代
宮東豊一
安井和広

※地域振興部、生活部、まちづくり部（公営企業を含む）及び農業委員会の所管に関する事項

総務文教常任委員会

◎福井澄榮
○肥爪勝幸
合田共行
下坊辰雄
西谷八郎治
丸山　純
南　初男
山田京子

※企画部、総務部、教育委員会、消防本部、会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に関する事項並びに他の所管に属さない事項

特別委員会

新名神高速道路対策特別委員会

◎南　初男
○宮東豊一
加藤郁子
合田共行
下神實千代
下坊辰雄
丸山　純
山田京子

議会広報特別委員会

◎丸山　純
○下神實千代
合田共行
下坊辰雄
肥爪勝幸
安井和広

議会運営委員会

◎下坊辰雄
○肥爪勝幸
石井洋二
久保宗一
福井澄榮
山田京子

議会選出の各種委員等

猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会議員
加藤郁子・宮東豊一
安井和広

民生委員推薦会委員
石井洋二

都市計画審議会委員
池上哲男・合田共行
丸山　純・宮東豊一
安井和広

青少年問題協議会委員
池上哲男

ひとくちメモ

「常任委員会」
議案などを専門的に、能率的に審査する常設の委員会のこと。総務文教、生活建設の二つの常任委員会があり、議員はいずれかの委員会に所属している。

「議会運営委員会」
円滑な議会運営を行うために、議会運営の全般について協議し、意見調整などを図る常設の委員会のこと。

「特別委員会」
特定の事件を集中的に審査するために、必要に応じて本会議で議決されて設置される委員会のこと。

一般会計に補正予算 3億1011万円を追加

第367回 9月定例会

第367回定例会を９月11日から26日まで16日間開会し、25年度補正予算２件をはじめ、条例制定２件、条例改正１件、人事案件１件、水道・下水道事業会計決算２件を審議し、いずれも全会一致で原案どおり可決・認定したほか、健全化判断比率及び資金不足比率と猪名川の教育点検・評価の報告を受けた。なお、24年度一般・特別会計の決算６件については、各常任委員会に付託し継続審査とした。

会計別の補正額

会　計	増額した補正額	補正後の総額
一般会計	3億1011万円	95億2512万円
介護保険	1266万円	18億9605万円

補正額を万円単位で表示するため端数処理をしています。
そのため、実際の補正額と一致しない場合があります。

補正予算

一般会計補正予算

人生80年いきいき住宅助成事業補助金340万円、私立保育所補助金610万円、ため池整備事業費1600万円、つつじが丘多目的広場修繕事業費775万円、旧阿古谷小学校にかかる町債償還金9337万円などを追加補正。

人事案件

教育委員会委員を選任

任期満了に伴い、中村清子さんの選任に同意。任期は29年9月30日まで。

決算認定

平成24年度水道・下水道事業会計決算を認定。

条例制定

延滞金の割合の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定

地方税法の一部改正により関係条例の整備を行うため。

つつじが丘多目的広場の設置及び管理に関する条例の制定

地域振興及び住民福祉の向上を目的とし、つつじが丘多目的広場を設置することによる。

条例改正

猪名川町地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正

猪名川パークタウン地区計画の変更に伴い建築物の制限に係る区域が拡大することによる。

意見書を国へ提出

道州制導入に反対する意見書

（全会一致で可決）

要旨 平成20年の町村議長全国大会以来「真の分権型社会の実現化を図るため、住民自治の推進に逆行する道州制は行わないこと。」を政府与党に申し入れてきた。

しかしながら、道州制を目指す法案を国会へ提出する動きが依然としてみられる。

国は、権限、事務、税財源の移譲等を具体的に示し、国民への説明、地方の意見を踏まえて進めるべきである。

よって、我々猪名川町議会は、地方分権の推進に逆行するような道州制の導入に反対するものである。

お知らせ

25年度　定例会の日程（予定）

＊12月定例会
12月10日(火)第１日
12月17日(火)第２日
12月20日(金)第３日

＊３月定例会
26年度２月25日～３月26日

※議事の都合により変更することがあります。

あなたも議会・委員会を傍聴しませんか

町議会では、身近な問題などを議論しています。

まちづくりを一緒に考えてみませんか。

傍聴の手続きは簡単で、当日、議会事務局で傍聴受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。

（議場20人、委員会室10人まで）

議会の録画配信をしています。

（町ホームページから町議会をクリックし、町議会から録画配信をクリックして映像配信にお進みください。）

録画配信は、皆さんに、より近い議会をめざした取り組みです。

（インターネットで見る本会議）

ぜひご家庭でご覧ください。

総務文教

つつじが丘に多目的広場を設置（当初中学校予定地）

9月12日㈭に委員会を開会。付託3議案を審査。主な質疑は次のとおり。

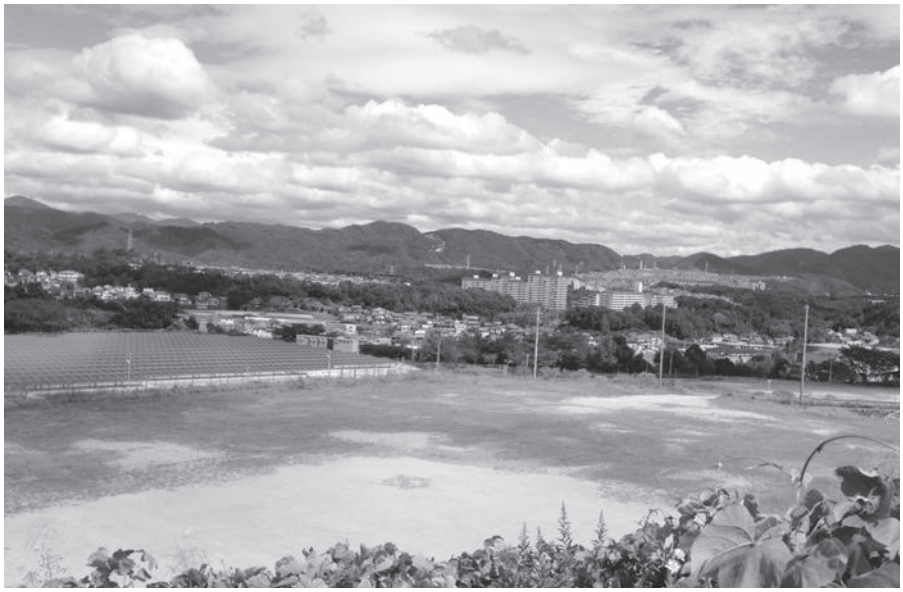
つつじが丘多目的広場の設置などに関する条例を制定

Q 住民に与えるメリットとデメリットは何か。

A 特定の利用者の暫定的な利用から公平・公正に広く利用をはかるための条例制定であり、一定の維持管理を行うことで安全な利用につながるが、現在の暫定利用者には使用料の負担が発生する。

Q 年度途中に条例を定める理由は何か。

A できるだけ早期に土地利用の目的を明確にするためである。



利用目的を暫定的利用から健康増進やスポーツ振興などに明確化

Q 教育委員会が担当する理由は何か。

A 他の社会教育施設と同様に、健康づくりやスポーツ利用などの施設として、住民福祉の向上をはかるためである。

Q 隣接する公園との一体的な管理は可能か。

A 都市公園法に規定された公園としての管理にはならない。

Q 現行の利用手続きをあえて変更する理由は何か。

A 現在は、使用申請順に許可を与えているが、条例の施行後は抽選による許可となる場合もあり、より公平な利用形態にするためである。

Q 使用料の徴収は、広場の独占使用に対し適正な管理ができるのか。

A 使用料を徴収することで、時間単位での使用許可となる。また、施錠などの広場の管理は、外部委託を考えている。

Q 別議案の補正予算との関係は。

A 一体のものとして、補正予算を執行したい。

Q 指定管理者を選定する予定はあるのか。

A 条例案には、広場の管理を指定管理者が行うことができるとあるが、ただちに指定管理者を選定しようとするものではない。

Q アドプト制度を利用することは可能か。

A 今後の検討課題としたい。

（その他、平成25年度一般会計補正予算・延滞金割合の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例についても審査。）

いずれの議案も全会一致で可決

生活建設

住宅助成事業補助金340万円増額

9月13日(金)に委員会を開会。付託5議案を審査。主な質疑は次のとおり。

一般会計補正予算

Q 人生80年いきいき住宅助成事業補助金が340万円の増額となっているが、期間中に申し込めば全てが補助金の対象になるのか。

A 兵庫県が1／2を補助するため、各市町の申し込みを取りまとめて補助金を決定する。今までの実績では不採択はない。

Q 児童福祉補助金子育て支援特別対策事業補助金はどういう内容か。

A 私立保育所が公立保育所より低いと言われている賃金を改善するため、県が10／10を補助し、私立保育所の職員1人当たり月額9000円前後の助成となる。

Q 雑入の介護保険特別会計返還金は、不適正給付の返還金か。

A 介護給付費については一般会計が12・5％等を負担するルールがあるため、ルールに基づき算定した結果、返還する。

地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正

Q 現在、白金地域などに戸建て住宅が建っているが、それと同じ基準なのか。

A 中高層の用地に戸建て住宅を建てることになっており、今回の制限をかけることによって、隣接する戸建て住宅の高さ、建ぺい率、容積率と同一基準となる。

下水道事業会計決算の認定

Q 流域下水道維持管理負担金が1億600万円ほどだが、どういった率や根拠で金額設定がなされ、また各年度の増減はどうなっているか。

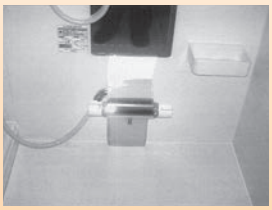
A 建設費20％、排水費80％の割合で負担金の金額を出している。全体の負担金における負担率は4・55％となっている。23年度が1億800万円で年々増えてきたが24年度で減少。今後は事業量を見直す動きがあることや汚水量の減少もあり、建設費と維持管理費が減ってくると考えられる。

(その他、介護保険特別会計補正予算、水道事業会計決算の認定についても審査。)

いずれも全会一致で可決

改修前

改修後



バリアフリー改修をした浴室

Q 電柱幕の傷みが激しいが交換は

A 予算化を考え順次交換を行いたい

下神　實千代議員

町内に電柱幕は何カ所設置されているか。幕の目的・内容は。幕は1枚いくらかかるのか。

地域振興部長　電柱幕は300カ所設置。目的・内容は、子ども達の登下校時の交通安全と事故防止、運転者への注意喚起が目的。内容は「スピード落とせ」「この先交差点あり」「学童多し注意」など。単価は枚数によって違うが5000円程度。

付け替えが必要と思うが、どう考えるか。

地域振興部長　本来の目的では危険度の高い箇所に設置されているもので経年劣化で傷みの激しいモノなどは、全く交通安全や事故防止の啓発ができていないため、予算化を考え傷みの激しいものから、順次交換を考えたい。

男女共同参画行動計画の意識啓発は。

地域振興部長　広報紙やホームページにより男女共同参画の重要性及び必要性の周知のほか、自治会長連絡協議会の連携のもと、第二次男女共同参画行動計画の自治会内の世帯回覧の実施など普及啓発に努める。

猪名川小学校前の電柱幕

Q 退職後の団塊世代に地域貢献の機会を

A 里山整備など地域貢献機会を作る

丸山　純議員

里山にかける意気込みは。

地域振興部長　県下有数のナラ・クヌギが生息する本町の里山を再生し、豊かな自然環境の保全に努める必要がある。また、里山から恵みを利活用し、経済が循環する仕組みが重要である。里山の保全景観の向上、また防災・減災の観点からも重要である。

退職後地域貢献窓口になるシルバー人材センターの現状は。

生活部長　平成24年度の会員数は男性252人、女性74人で23年度より22人の増加。65歳から74歳までの会員が229人と70%を占め、除草・清掃といった一般作業が65万6千円で約59%を占めている。引き続き生きがいと達成感を得られるよう加入促進に努める。

里山再生の活用にシルバー人材センターを。

地域振興部長　山林所有者の協力のもと、森林組合が伐採組織を立ち上げる際にはシルバー人材センター会員に協力してもらうことも検討したい。

里山のイメージに近い万善地区

Q 耕作放棄地・遊休農地の防止と再生は

A 農地の利用集積や仲介・あっせんを進める

肥爪　勝幸議員

荒廃した農地

近年、農業経営者の高齢化や後継者不足、経費負担も大きく、耕作放棄地が増えている。面積はどの程度か。本町の認識は。

地域振興部長　遊休化農地は、12・4haで農地面積全体の2・3%。人的な課題や基盤整備が十分でなく耕作に大変な労力を要すること、小規模農地では作業受委託・利用集積が進まないのが現状である。

農業経営者の指導はしているのか。「耕作放棄地再生利用対策」など各地で多様な実践がされているが、本町の取り組みは。

地域振興部長　農地パトロールで現状把握し、指導している。平成21・22年度に「緊急雇用就業機会創出事業」を活用し、1・6haの遊休農地を解消した。農地の利用集積、新規就農者の受入れ、そばの作付支援により発生防止に努めている。

病害虫や鳥獣被害の発生をはじめ周辺環境に様々な影響を与える。今後の取り組みは。

地域振興部長　地域全体の課題として捉え、協議を進めることが必要と認識している。

Q 要支援1・2の人へのサービスの継続は

A これまで同様に取り組んでいきたい

池上　哲男議員

政府は要支援1・2を介護保険から切り離し、地域支援事業に移す考えだ。地域支援事業は介護保険財源の3～4%との上限があり、要支援の財源は町負担となる。①本町の要支援1・2対象者数及び従前のサービスを行う場合の費用は。②改定された場合、受け皿となるNPO法人や地域団体の確保及び要支援者に負担増をさせずにサービスを低下させない方策は。

生活部長　①対象者は469人で、24年度の支出は1億2604万円。②現状ではNPOや地域団体はない。既存事業者の活用を含め、近隣自治体の動向もふまえ検討する。基本的な支援の考えは変わらず、これまで同様に取り組んでいきたい。

8月から生活保護の扶助費が引き下げられた。①本町での給付減額は。②改訂に伴う住民税非課税世帯などへの影響は。

生活部長　①例えば70代と60代の二人世帯で、7月分の支給が14万2540円から13万6030円となった。②住民税非課税世帯への影響は25年度はない。26年度以降は未定。

このようなサービスが維持できるか。

合田　共行議員

Q 全ての入札・契約結果の公開を

A 現状をこのまま継続したい

ホームページにて建設・土木関係を中心に入札情報が公開されているが、機器・備品や業務委託などの入札公表があいまい。全ての発注に際し入札結果を公開すべきでは。

総務部長　公表対象については法律に基づき、設計・建設などの金額250万円以上の入札結果をホームページで公開。機器・備品や業務委託は公表対象でないが、請求による閲覧は可能。

入札形態について法的には一般競争入札が原則にあり、行政裁量権に左右される指名競争入札や分割発注、随意契約の適正や透明性が望まれるが。

総務部長　入札は制限付き一般競争入札も実施しているが、指名競争入札の割合が多いことも実情で、本町の要綱に基づき業者選定を行っている。

入札の公表・あり方は積極的にオープンにしていくべきだがどうか。

総務部長　今後、問題があれば検討したい。

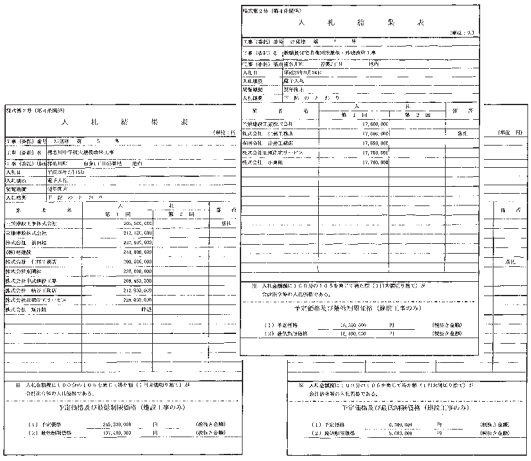
〈その他の質問〉

・災害時要援護者支援制度の問題点と課題

・防災リーダー育成研修の交通費全額補助導入

他

平成25年度　入札結果（工事関係）の一部



猪名川町ホームページより

Q 人間にも害を及ぼすダニ対策を

A 今後も引き続き広報などで注意喚起する

福井　澄榮議員

マダニ類・ツツガムシ類は、野外のやぶや草むらなどに生息しているダニで、家庭内に生息するダニとでは全く種類が異なる。市街地周辺でも見られる。これらのダニは病原体をもっていることがあり、咬まれると重症熱性血小板減少症候群、つつが虫病、日本紅斑熱やライム病などの感染症にかかる危険性がある。兵庫県でも死者が出ている。これらの疾患にかからないようにするには、ダニに咬まれないように、長袖・長ズボンなどを着用することが必要で、住民への周知が必要ではないか。

生活部長　広報いながわでも掲載したが、さらなる情報提供、注意喚起に努める。

家庭裁判所に行く前に相談できる家事相談部署の設置を。

地域振興部長　昨年の家事相談は40件。住民ニーズ、費用などから調査研究をする。

敬老会の記念品は町内商業活性化にもつながる地域商品券を。

生活部長　商工会などとも意見交換して検討する。

マダニ類に咬まれないように

Q イオンに住民センター設置の考えは

A 現在のところ設置は容易ではない

加藤　郁子議員

イオン猪名川店に住民センターを設置すること。また、期日前投票所を設けることに関して本町の考えは。

生活部長　年間の借り上げ経費・設備投資・職員配置から、現在のところ容易ではないと考える。

総務部長　期日前投票所増設については費用対効果・セキュリティーなど慎重に考える必要があり、経費もかかる。近々に新たに設けるのではなく、今後検討を進め、適切な時期に見直しをする。

民間施設に設置するのが難しいのであれば、隣接する中央公民館・文化体育館に設置の考えは。

生活部長　現状が行政施設のため、パンフレットなどは置いているが、連絡所機能を置くのは、財政的に考えて、すぐには無理と考える。

安心して子どもを産み育てるために、急な事例にも対応でき、安心して子どもを預けることのできるサービスは。

生活部長　事前登録が必要だが、星児園七夕で就学前の一時預かり制度を実施している。

イオン猪名川店と隣接する公共施設

Q ユニバーサル社会の進展は

A 施設・ソフト面で配慮し進めてきた

石井　洋二議員

今回は福田町長にとって、4年間の区切りとなる。ユニバーサル社会は、わが町においてどのように進展して来たか。

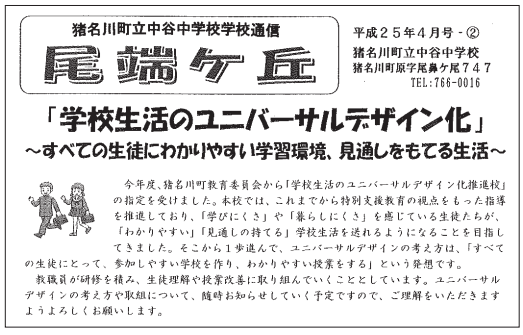
生活部長　町内の路線バスでは、段差を解消した「ノンステップバス・ワンストップバス」の導入が平成21年度12台から現在56台程度へ増加、高齢者・障がい者にとって乗り降りしやすいバスの普及が図られている。

学校現場での、ユニバーサルデザインに対する取り組みは。

教育部長　この4月から中谷中学校を「学校生活のユニバーサルデザイン推進校」として研究を進めている。具体的な例として「授業での指示は明確に、短く、はっきりと」「授業の最初には、その授業で学習する目当てや目標、授業の見通し、流れを黒板に書いて知らせる」などが挙げられる。

日生中央駅地域が実践モデル地区に県から指定されたが、具体的に何をしていくのか。

生活部長　まず講演会を開催し周知・啓発、その後5年間の事業計画を、地域住民と考え策定する。



猪名川町立中谷中学校学校通信

尾端ケ丘

平成２５年４月号 - ②

猪名川町立中谷中学校
猪名川町原字尾鼻ケ尾７４７
TEL:766-0016

「学校生活のユニバーサルデザイン化」

～すべての生徒にわかりやすい学習環境、見通しをもてる生活～

今年度、猪名川町教育委員会から「学校生活のユニバーサルデザイン化推進校」の指定を受けました。本校では、これまでから特別支援教育の視点をもった指導を推進しており、「学びにくさ」や「暮らしにくさ」を感じている生徒たちが、「わかりやすい」「見通しの持てる」学校生活を送れるようになることを目指してきました。そこから１歩進んで、ユニバーサルデザインの考え方は、「すべての生徒にとって、参加しやすい学校を作り、わかりやすい授業をする」という発想です。

教職員が研修を積み、生徒理解や授業改善に取り組んでいくこととしています。ユニバーサルデザインの考え方や取組について、随時お知らせしていく予定ですので、ご理解をいただきますようよろしくお願いします。

学校生活のユニバーサルデザイン化

安井　和広議員

Q 農林商工政策に力を入れるべきだ

A 農林商工政策の重要性は認識している

山林の管理活用の仕組みの構築について、取り組み内容と進捗状況は。

地域振興部長　竹資源循環利用事業で1万3千平方メートルの整備、しいたけ原木伐採奨励助成事業で約6万本の原木搬出。ペレットストーブ購入補助制度の立ち上げなどである。

流通システムの調査研究の検討結果は。

地域振興部長　広葉樹を伐採・搬出、利活用する仕組みからペレット燃料が効果的である。

実験導入したペレット燃料と石油燃料の比較と結論は。

地域振興部長　ペレット燃料が効率的で、燃料代は減額となった。

ペレット工場建設事業の今後の取り組みは。

地域振興部長　25年度中にアンケートを行い、町内の森林からの原材料の確保について検証する。

決算書では、自主財源比率は減少している。今後も減少が予想される。今のうちに農林商工政策に力を入れるべきだが町の見解は。

地域振興部長　農林商工政策推進の重要性は認識している。

紫合地内の里山

訂　正

平成25年8月1日に発行しました議会だより第148号の7ページに誤りがありましたので、次のとおり訂正します。

合田議員の質問が総務部長の答弁のように表記しましたが質問内容であったため、下記のとおりお詫び訂正いたします。

本町のラス指数109・6及び国より国家公務員給与削減に準拠した減額要請に対し、本町の考えは。

総務部長　国に準じて給与削減を実施することを考えている。

本町職員の給与は一人あたり年収で627万9千円。平成23年の民間給与実態（国税庁調べ）は409万円。職員給与のレベルをどう捉えているのか。

総務部長　人事院勧告に準じ適切な給与レベルで支給している。

議員研究会に参加

10月1日㈫上郡町生涯学習支援センターで県町議会議長会主催の「議員研究会」が開催され全議員が参加しました。

山梨学院大学大学院社会科学研究科長・中央大学名誉教授の今村都南雄氏から「今後の町村議会のあり方と自治制度」をテーマとして講演がありました。

今村都南雄講師の講演

いながわ追跡調査隊 追うレンジャー

過去に行われた一般質問のその後を追跡調査隊「追うレンジャー」が調査しました。

第23回のミッションは、次の2つの質問のその後です。

農業の今後は

質問 平成21年6月定例会

農業を守り、活用していくために今後どのように指導し、また、目指そうとしているのか。

答弁 地域の実情に応じた取り組みをしていく

規模拡大希望農家や認定農業者への農地の集積、集落営農の推進、市民農園の開設など地域の実情に応じた取り組みをしていく。

基金のあり方に対する町の考えは

質問 平成21年9月定例会

財政を持続可能に運営していくための基金のあり方に対する考えは。

答弁 基金に頼らない財政をめざす

財源調整としての最小限の取り崩しはやむを得ないものと考えるが、基金に頼らない財政状況を目指すことが大切。

現在

農業経営基盤強化促進法による農地集積を推進し増加

平成22年度から平成24年度の3カ年で農業経営基盤強化促進法により、農地集積を推進し現在では105件、21.5haと増加している。集落営農組織は、町内に2組織が設立しており、そのうち1組織法人化を検討。

利用集積が設定された土地

基金は増加、健全な財政運営を継続

基金残高は、平成20年度以降新名神高速道路用地の売却などで3億円程度の増額となっている。引き続き歳出の抑制、未利用地の有効活用などで、基金残高の安定的な確保に努め、健全な財政運営を継続していく。

「猪名川町議会改革フォーラム」を開催しました

平成25年8月31日㈯生涯学習センター2階視聴覚ホールで開催され、19人の参加がありました。

当日は、議会改革検討協議会会長から猪名川町議会基本条例（素案）の紹介や、三重県松阪地域防災総合事務所長・元三重県議会事務局次長高沖秀宣氏から「議会への住民参加と議会基本条例」をテーマに講演がありました。その後の質疑では、多くの質問をいただきました。

皆様から頂きましたご意見を参考に、「より開かれた議会」を目指します。

高沖秀宣講師の基調講演

こどもたちの声

イルカ

松尾台小学校　二年　假屋（かりや）　空翔（くうと）

ぼくは、みんなとイルカにエサをやりました。ぼくのあげたエサはみんなより、たくさんたべました。ぼくがあげたイルカはすごくおなかがすいていたんだと思います。イルカにしじもできました。いろんなことをしてたのしかったです。

タオル

中谷中学校　二年　古谷（ふるたに）　恵美（めぐみ）

私は
いつ、どこで生まれたのか分からない存在
でも
汗を拭くときには
その人の頑張りを認めたい
涙を流すときには
その人の悲しみを吸い取りたい
分からなくっても、いい
人の気持ちに応えられる存在でいたい

編集後記

10月から議会広報特別委員会のメンバーが、新たに選出されました。

6人の新メンバーで「いながわ議会だより」を年4回発行してまいります。従前にもまして住民のみなさまがわかりやすい広報づくりに努めてまいりますので、今後ともご愛読ください。

新たなメンバー

発行：兵庫県猪名川町議会
編集：議会広報特別委員会
〒666-0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11の1
TEL:072-766-8710　FAX:072-766-8882
http://www.town.inagawa.hyogo.jp

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOYINK
議会だよりは再生紙を使用し、地球環境にやさしい大豆油インキで印刷しています。
この広報紙は11,800部作成し、一部あたりの単価は40.4円です。